

第48期 第2四半期

決算説明会

2019年 3月19日(火) / 3月22日(金)

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。

*Financial Results Presentation
for the Second Quarter of 48th term*

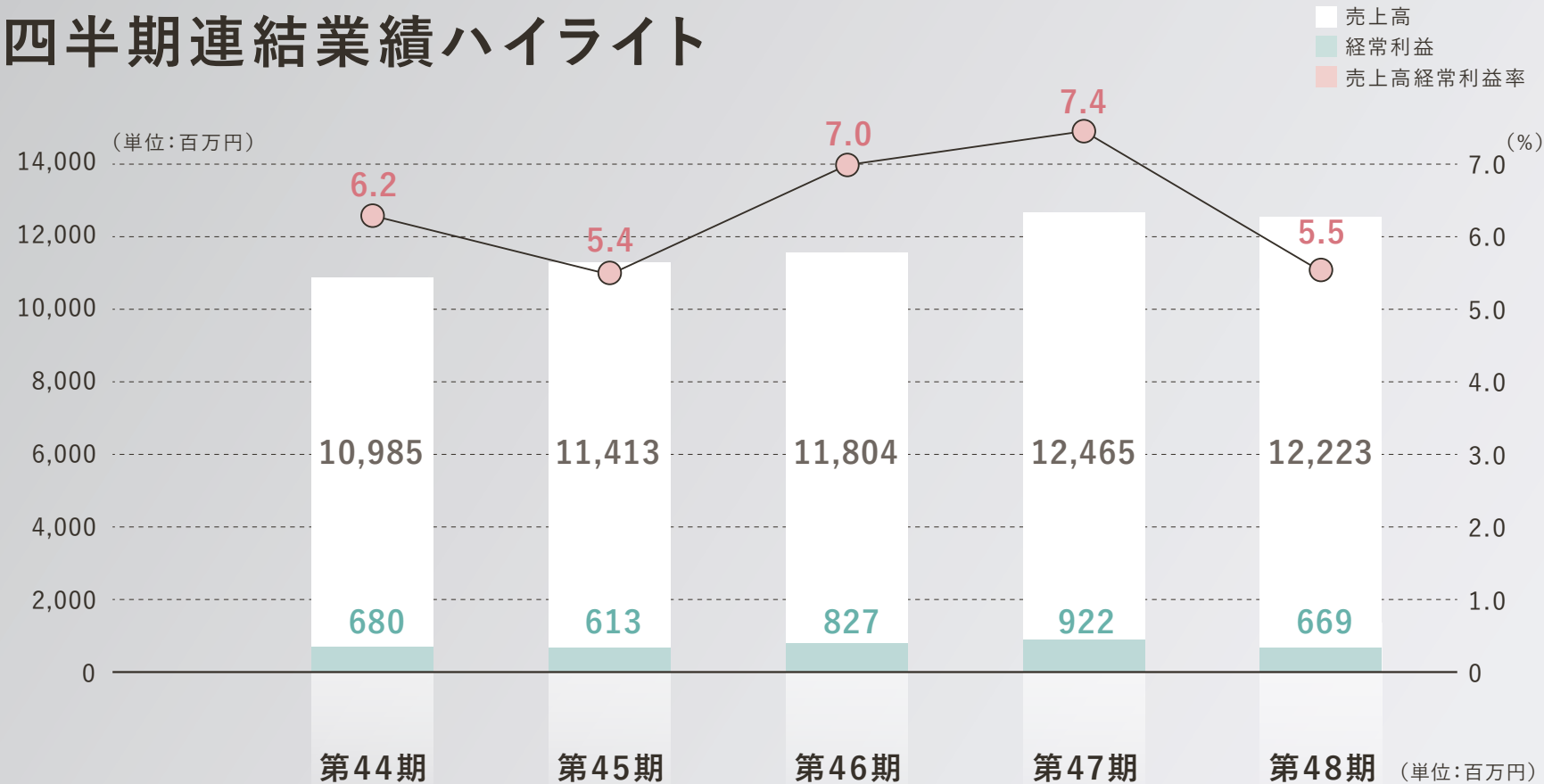
第2四半期連結業績ハイライト

- 年賀状印刷売上高は、パック販売数が不振も（前期比95.9%）売価アップにより増収（+107百万円）
- 商業印刷売上高その他は、北海道胆振東部地震（2018年9月）の影響やダイレクトメールの受注減等により減収（△349百万円）
- 年賀はがきの郵便料金値上げ（52円→62円）や運賃、印刷用紙の値上げなどの影響により減益

	第47期 第2四半期	第48期 第2四半期	増 減	増減率
売上高	12,465	12,223	△241	△ 1.9%
営業利益	837	617	△219	△26.2%
経常利益	922	669	△253	△27.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	639	442	△196	△30.8%

（単位：百万円）

第2四半期連結業績ハイライト



売上高	10,985	11,413	11,804	12,465	12,223
営業利益	662	594	780	837	617
経常利益	680	613	827	922	669
親会社株主に 帰属する当期純利益	428	385	574	639	442
売上高経常利益率	6.2	5.4	7.0	7.4	5.5

TOPIX ①

地方創生事業を拡大



北海道からスタートした『JP』シリーズは、国際標準化機構による都道府県の地理コードを誌名としたフリーマガジンで、地元の人にも知らない隠れた観光・味資源や地域の取組みなどを掘り下げて紹介することにより、本誌を通じた地域交流の拡大・活性化を目指しております。

これまで、北海道をはじめ、千葉県、神奈川県、島根県及び大分県においてそれぞれ創刊し、2018年12月、一般社団法人日本地域情報振興協会が主催する日本タウン誌・フリーペーパー大賞2018において、地方創生部門最優秀賞(内閣府地方創生推進事業局長賞)を受賞しました。

また、2018年5月から札幌市と協定の上、これまで札幌市が発行する広報誌『広報さっぽろ』に掲載されていたイベント情報の一部を、当社が発行・配布する『地域新聞ふりっぱー』に掲載することとなり、現在も継続しています。

『地域新聞ふりっぱー』は、2006年に創刊し、札幌市内を4エリアに分けて毎月発行。配布エリア内のすべてのご家庭や職場に直接配布する全戸宅配型で、札幌市とその近郊の身近な話題を提供する地域に密着したフリーペーパーです。



さらに、3月28日にオープンが予定される、東日本14道県25市町の地酒や特産などが一堂に集結する『東日本連携センター(愛称まるまるひがしにほん)』の運営管理を受託することとなりました。同センターは、さいたま市とさいたま商工会議所が共同で運営し、東日本の玄関口であるさいたま市大宮区のJR大宮駅東口(北側)に開設され、地域活性化に向けた広域連携が期待されています。

今後も、全国各地の地方創生事業に取り組んでまいります。

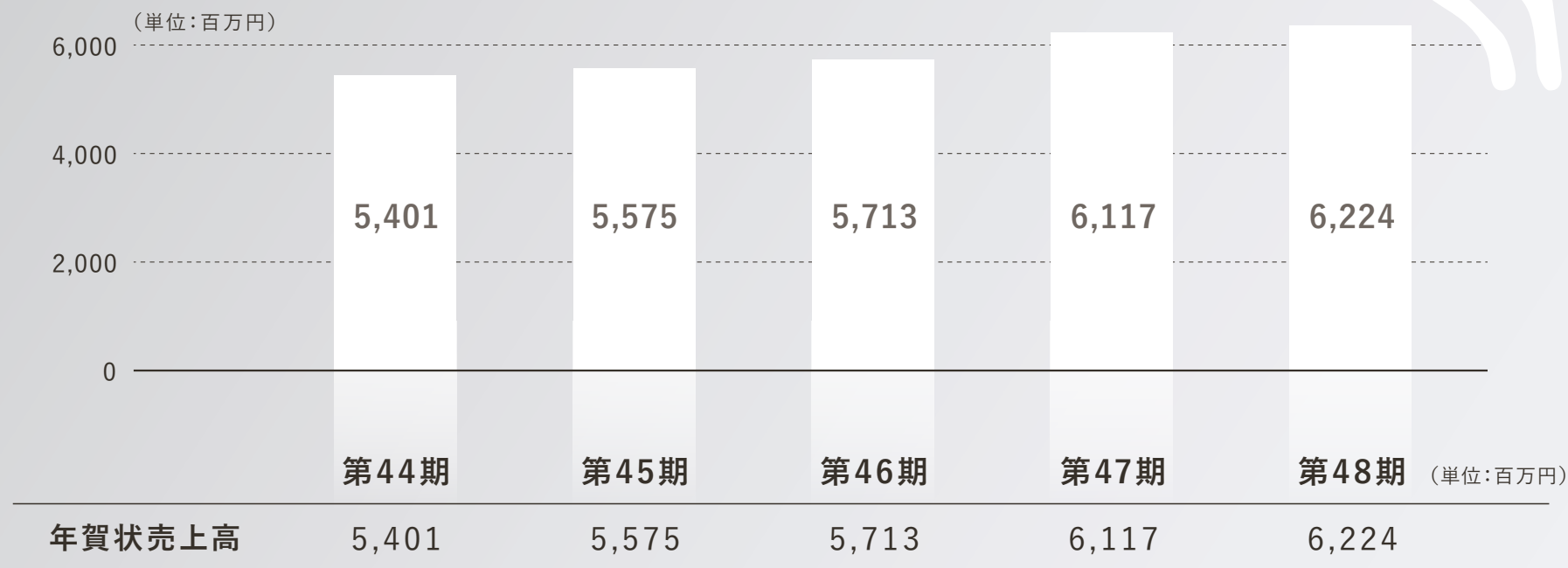
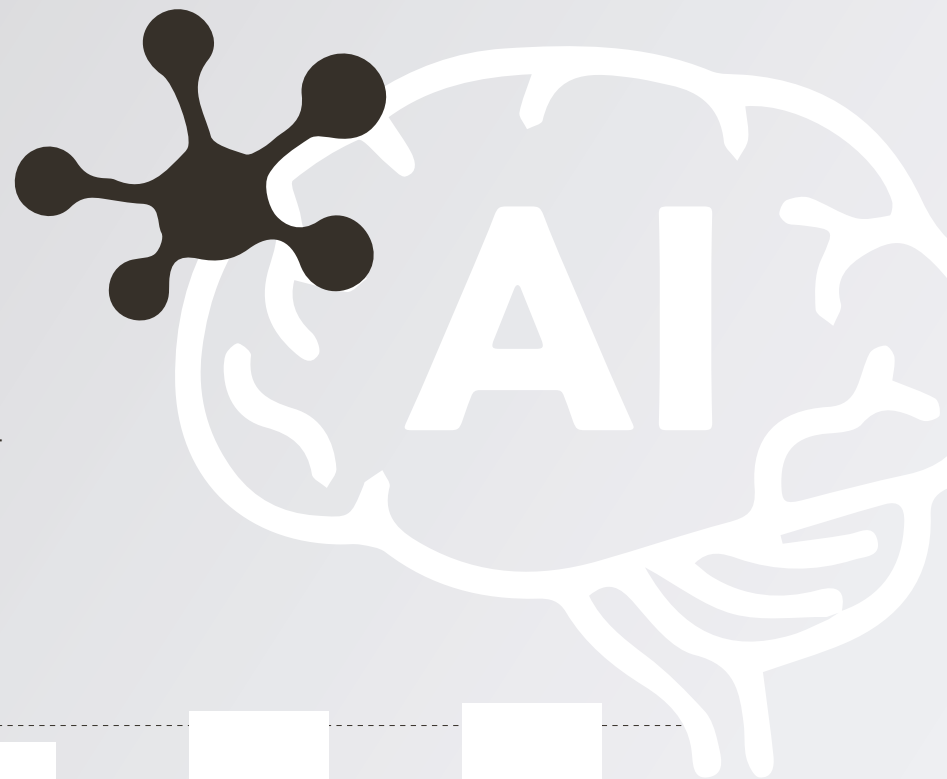


年賀状印刷にAI導入

1字の間違いも許されない年賀状印刷において、校正作業はこれまで多くの人手を費やしてきましたが、短期雇用の人手が不足しつつあることに加え、校正の精度をより向上させるため、人工知能(AI)の導入を計画しております。

個人差が大きい手書き文字を画像認識し、相互に違いがないかを確認するシステムの構築を目指し、実証試験を行いました。

2019年秋には本格的な稼動を予定しており、AIの活用により、業務の効率化とコストの削減を進めてまいります。



ISOの認証取得

これからの事業展開を見据え、ISO9001(品質マネジメントシステム)及びISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証取得を計画しております。

品質保証体制をより充実させ、情報セキュリティレベルをより向上させることによって、事業参入の機会を増やすとともに、社会的な信頼の獲得やお客様の満足度を高めることにつながってまいります。

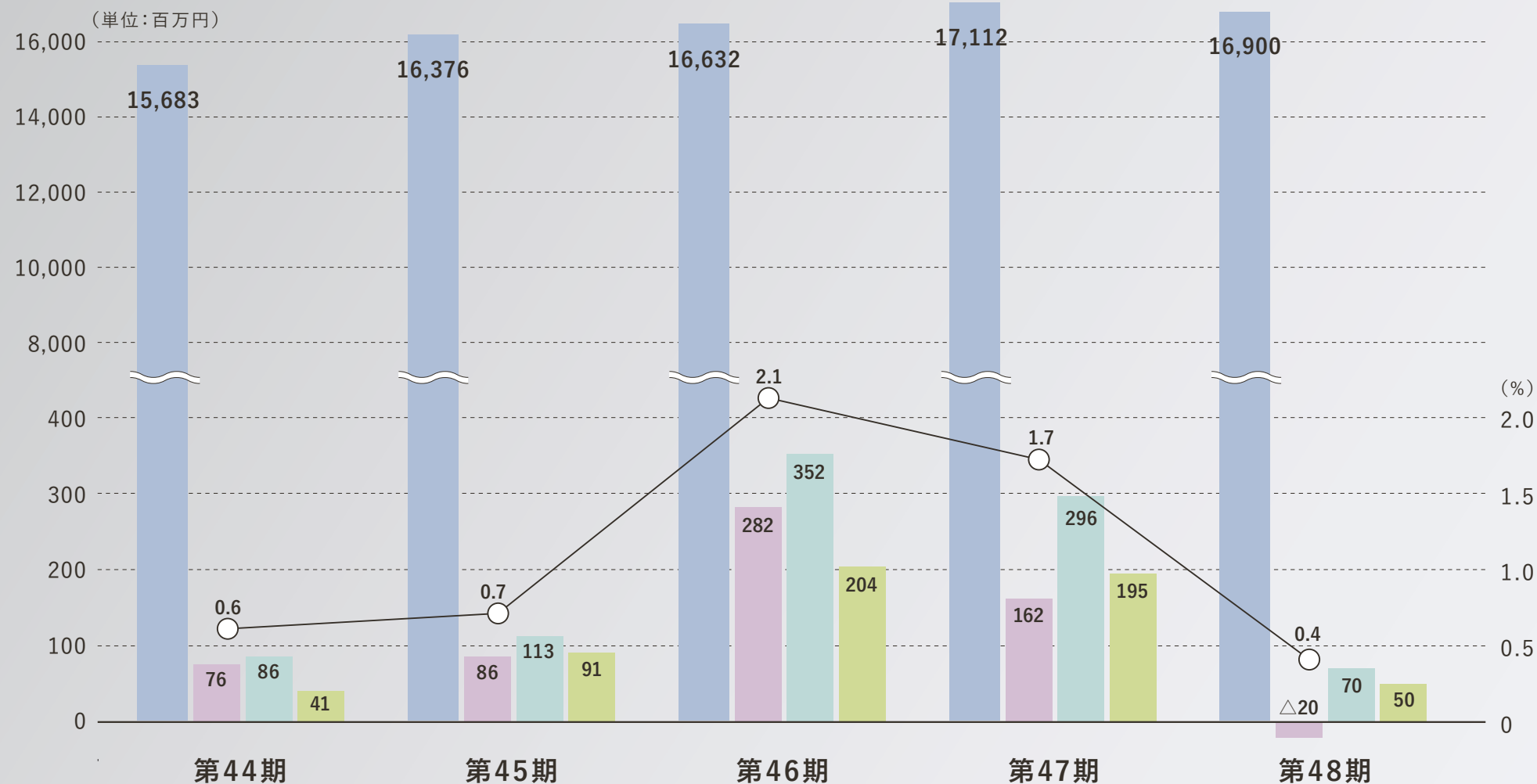
また、社内においても、これまでの生産工程を見直すなど、業務ルールを明確にすることで、作業の標準化や品質の均一化を図るとともに、生産性の向上に努めてまいります。

※ISO・・・International Organization for Standardization、
国際標準化機構



第48期の見通し 連結業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ○ 売上高経常利益率



参 考 資 料

【参考資料】

四半期連結損益計算書（第2四半期）

	第46期 第2四半期	第47期 第2四半期	第48期 第2四半期	（単位：百万円） 対前期増減
売上高	11,804	12,465	12,223	△241
営業利益	780	837	617	△219
経常利益	827	922	669	△253
親会社株主に 帰属する当期純利益	574	639	442	△196

【参考資料】

四半期連結貸借対照表（第2四半期）

（単位：百万円）

	第47期	第48期 第2四半期	増減
現金及び預金	1,047	2,210	1,163
その他	2,407	5,125	2,717
流動資産合計	3,454	7,336	3,881
有形固定資産	3,327	3,315	△11
その他	1,640	1,660	20
固定資産合計	4,967	4,976	8
繰延資産合計	6	5	△1
資産合計	8,429	12,318	3,889

	第47期	第48期 第2四半期	増減
流動負債	2,614	6,461	3,846
固定負債	3,398	3,066	△332
負債合計	6,013	9,527	3,514
資本金	411	411	－
利益剰余金	1,284	1,697	412
その他	719	681	△38
純資産合計	2,415	2,790	374
負債純資産合計	8,429	12,318	3,889

【参考資料】

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（第2四半期）

（単位：百万円）

	第47期 第2四半期	第48期 第2四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	△206	△438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234	△313	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	516	1,683	1,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	513	1,163	650
現金及び現金同等物の期首残高	1,406	1,047	△359
現金及び現金同等物の期末残高	1,920	2,210	290